

【大学礼拝週報】 2025 年度 第 29 号（後学期第 14 号）

2025 年 12 月 23（火） 午前 10 時 40 分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

【クリスマス礼拝】

司 式 小林昭博（宗 教 主 任）

奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）

讃美指導 相原晴伴（循環農学類教授）

指 揮 梅津 敏（高大音楽コーチ）

出 演 聖 歌 隊・学 園 有 志

吹 奏 楽 団・室 内 楽 団

ア・カペラサークル唱種

前 奏 いづこの家にもめでたきおとずれ（ツァッハウ作曲）

招 詞 イザヤ書 7 章 14 節b《インマヌエル預言》（新共同訳）

14b見よ、おとめが身ごもって、男の子を生み

その名をインマヌエルと呼ぶ。

讃 美 歌 讃美歌 2 1 261 番（もろびとこぞりて） 一同

聖 書 ルカによる福音書 1 章 26-38 節《受胎告知》（新共同訳）

26 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。27 ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。28 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」29 マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。30 すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。31 あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。32 その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビ

デの王座をくださる。33 彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」34 マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」35 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。36 あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。37 神にできないことは何一つない。」38 マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

さ ん び 讃美歌 2 1 264 番（きよしこの夜） 聖歌隊

聖 書 ルカによる福音書 2 章 1-7 節《イエスの誕生》（新共同訳）

1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。2 これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。3 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。5 身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。6 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、7 初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

演 奏 星出尚志編『クリスマス・キャロル・ファンタジー』（メドレー）

吹奏楽団・学園有志

聖 書 ルカによる福音書 2 章 8-14 節《羊飼いの天使の顕現》（新共同訳）

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

14 「いと高きところには栄光、神にあれ、  
地には平和、御心に適う人にあれ。」

讃美歌 讃美歌 21 260 番 (いざ歌え、いざ祝え) 一同

聖書 ルカによる福音書 2 章 15-20 節 《羊飼いの幼子イエス訪問》(新共同訳)

15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

演奏 ヘンデル「ハレルヤ」(オラトリオ『メサイア』より)  
室内楽団・ア・カペラサークル唱種・学園有志

奨励 「思い出のクリスマス——交差からめぐり逢いへ」  
祈り 小林昭博(宗教主任)

讃美歌 讃美歌 21 258 番 (まきびとひつじを) 一同

報告

後奏 いざ歌え、喜べ(クレンケル作曲)

## 【クリスマスの感謝】

クリスマスおめでとうございます。クリスマス礼拝にご出演くださった奏楽者、讃美指導者、指揮者、聖歌隊、室内楽団、吹奏楽団、ア・カペラサークル唱種、学園有志のみなさん、出演学生に教務の面等でご配慮くださった教職員のみなさん、学園各所にヒンメリ、ツリー、リースの制作と設置をしてくださったみなさん、そしてクリスマス礼拝にご出席くださった学生、教職員のみなさん、どうもありがとうございます。また、お覚えくださりつつも出席が叶わなかった方もいらっしゃると思います。みなさんにクリスマスに祝福をお祈りいたします。「地には平和」を願いつつ、メリークリスマス！



## 【次回の大学礼拝(終業礼拝)】2026年1月20日(火)10時40分

次回の大学礼拝は韓国CCCの学生たちを迎えて、特別プログラムの礼拝を行います。韓国から20名以上の学生が来学します。礼拝後に茶話会・交流会も行います。韓国と日本の文化交流・国際交流の貴重な機会でもあります。前に会って仲良くなった友達と再会したり、新しい友達を作ってみたりしてください。学生のみなさんのご出席を心よりお待ちしております。

## 【前回の大学礼拝】2025年12月16日(火)

学生：17名 教職員ほか：9名 合計：26名